

令和 6 年 6 月 22 日現在

機関番号：32643

研究種目：基盤研究(B) (特設分野研究)

研究期間：2018～2023

課題番号：18KT0003

研究課題名(和文) 変貌する大国間関係・グローバル市民社会の交錯とグローバル・ガバナンス

研究課題名(英文) Global Governance

研究代表者

渡邊 啓貴 (Watanabe, Hiroataka)

帝京大学・法学部・教授

研究者番号：80150100

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究課題による研究代表者による直接的な主要成果は以下のとおりである。渡邊啓貴監修・編著 中公出版『ユーラシアダイナミズム』「はじめに」「欧州安全保障体制」に研究成果の概要はまとめられている。

主査と分担者の大部分が本研究計画の一環としてかかわった代表的成果としては、グローバルガバナンス学会編『ウクライナ戦争とグローバル・ガバナンス』(中村・小尾・首藤責任編集)がある。また、グローバル・ガバナンス学会や(公財)日本国際フォーラムなどと協力しながら、オンラインを含め国内外の学会発表などを行う機会を多く持ち、議論を重ねることにより、研究成果を広く伝えることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

21世紀に入って国際秩序が中露の復活により大きく変化していく中で、大国関係が大きく変容している。とくにコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻による世界とユーラシア大陸全体の構造的変容が顕著になってきている。そうした中で、ユーラシアの変貌する国際秩序を勢力圏の分類によるパワーポリティックスとそれをさらに広く包摂するグローバル・ガバナンスの立場からの上記成果は今後の国際社会の変容の方向性と意義についての理解に大きなヒントを与える示唆に富むものである評価できる。

研究成果の概要(英文)：The following are the direct major results by the principal investigators from this research project. The outline of the research results is summarized in "Introduction" and "European Security Regime," in "Eurasian Dynamism," edited and supervised by Hiroataka Watanabe, Chuko Publishing Co.

A representative work in which the project leader and most of the contributors were involved as part of this research project is "The Ukraine War and Global Governance," edited by the Japan Society for Global Governance (Nakamura, Koo, and Suto, eds.). In cooperation with the Japan Society for Global Governance and the Japan Forum on International Relations (JFIR), we have had many opportunities to present and discuss our research findings at domestic and international conferences, including online, and have been able to disseminate them widely.

研究分野：国際関係論

キーワード：国際秩序 ユーラシア グローバルガバナンス パワーポリティックス

## 1. 研究開始当初の背景

多極化する世界の中で市民社会の活動は各国別に論じることはできなくなっている。国内社会と国際社会の壁は低くなりつつある。経済や科学技術分野でのそうした傾向は著しい。しかし政治・人的交流などでは体制やイデオロギー・宗教上の問題からそうした壁は実際にはそう簡単には崩壊していない。パワーポリティックス的な米中関係にみられる大国間関係、国際連合に代表される国際組織の多国間関係、個別の市民団体などの領域における民間交流による相互依存関係など多くのパイプがあるのが現代国際社会の特徴だが、どれか一つの視点からのアプローチで問題が解決する時代ではない。

そうした中でグローバル・ガバナンス学会の主要メンバーで、「変貌する大国間関係・グローバル市民社会の交錯とグローバル・ガバナンス」というテーマに沿って、多角的研究をとおして行われた本研究計画は今日の国際社会の理解に重要な分析枠組みと方向性を示唆することになると考えられた。

## 2. 研究の目的

大国関係と市民社会の関係性をグローバル・ガバナンスの広い視野から再考すること。現状では大国間関係は市民社会の自由で民主的な活動を阻むこともあるし、市民社会の民主的活動が国家の外交と重なる形で影響力を発揮することもある。そうした実態を把握することが第一の目的だった。各自の研究領域におけるケーススタディを通して行う点が本研究計画の意図であった

## 3. 研究の方法

方法論的には多分野を包括し、分析対象のアクターも多様であるので、統一的な方法論はなかなか見出させなかったが、共通テーマの下に議論していくと、方法論的な違いは分かりやすくなった。参加者全員ではないが、グローバル・ガバナンス学会の研究会や年次研究大会、日本国際フォーラムなどとタイアップした共同研究を通して研究発表を重ねることによって議論を深めていった。

研究期間内は、グローバルガバナンス学会研究会の中で行うことが多くなり、第7・8回研究会(2018年10月7日、12月22日)は分担者中村登司哉所属の1名古屋大学、第10回(2020年1月11日)は主査渡邊の所属する帝京大学八王子キャンパスで研究会を実施した。

しかしコロナ禍のために活動は一旦停止しなければならなかった。研究活動が再開された第11回研究会(2021年4月18日)からはオンラインで研究開始を行うようになり、本研究計画実施期間内最後の研究会は第19回2024年2月27日大澤 傑(愛知学院大学文学部)を招いて「『民主主義対権威主義』は現代国際政治を説明できるか」という論題で議論した。大体研究機関6年以内に年にコロナ禍の一年余の中断期間はあったが、13回の研究会を組織できたので、各年平均2-3回は定期的に独自の研究会合を開催することができた。

## 4. 研究成果

したがって、本研究企画の成果は、各人がグローバル・ガバナンス学会やほかの研究グループとの協力による研究成果がある。

主査の例でいえば、渡邊が日本国際フォーラム(JFIR)のユーラシア研究プロジェクトと欧州研究プロジェクトの代表となっていたので、科研研究分担者のうち福田 耕司・中村登司哉・宮脇昇ら本研究計画の分担者も加わって年に3-5回研究会合を2018年から23年にかけて実施した。その成果は各自学会誌などの論文や書籍で発表してきた。たとえば、渡邊啓貴監修『ユーラシア・ダイナミズムと日本』(JFIR World Review no 1 2018)、『欧州のリアル』(JFIR World Review no4 2021)などがある(後述の研究分担者の業績参照)。

また大きな成果として、アフガニスタンからの米欧大国の撤退やウクライナ戦争をめぐる各国のアプローチをまとめた渡邊啓貴監修・編著『ユーラシアダイナミズムと日本』中央公論新社2022年、また米中 EU の対応、国際秩序や規範、避難民・人の移動など大国関係と広範な市民社会の実態を念頭に置いてウクライナ戦争を多角的にとらえた研究、グローバルガバナンス学会編『ウクライナ戦争とグローバル・ガバナンス』(中村・小尾・首藤責任編集)2024年を出版した。

これらの成果文書には、研究主査と 分担者の大部分が執筆している。研究期間内の成果の集大成となっている。  
また後述の研究成果業績にあるように海外も含めて主査と分担者は研究報告をしてきた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計40件（うち査読付論文 11件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 14件）

1. 著者名 渡邊啓貴	4. 巻 vol 73
2. 論文標題 マクロンとルペン、それぞれの勝利	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 114-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 首藤もと子	4. 巻 第21巻第1号
2. 論文標題 COVAXファシリティと国際公益の課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 公益学研究	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小尾美千代	4. 巻 23
2. 論文標題 脱炭素社会の構築における機関投資家の役割：気候リスクとカーボン・ニュー トラルに対する認識に注目した分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アカデミア. 社会科学編	6. 最初と最後の頁 61-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15119/00004047	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Koji Fukuda	4. 巻 19(4):2134
2. 論文標題 Educators' Psychosocial Burdens Due to the COVID-19 Pandemic and Predictive Factors: A Cross-Sectional Survey of the Relationship with Sense of Coherence and Social Capital	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Int J Environ Res Public Health	6. 最初と最後の頁 1-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19042134	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊啓貴	4. 巻 -
2. 論文標題 「多極時代の『戦略的自立』を模索するEU」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 海外事情	6. 最初と最後の頁 64-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊啓貴	4. 巻 -
2. 論文標題 フランスのインド太平洋戦略	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JFIR Policy Paper web	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirotaka Watanabe	4. 巻 -
2. 論文標題 Strategic Independence as a Strategy for European and Asian Connectivity and as a Global Strategy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JFIR commentary (web), July 4, 2021	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirotaka Watanabe	4. 巻 -
2. 論文標題 What Japan Should Do for the Tokyo Olympics: Now is the Time for Japan's "Insight Diplomacy"	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JFIR commentary web	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuda Yasue, Ando Shuji, Fukuda Koji	4. 巻 16
2. 論文標題 Knowledge and preventive actions toward COVID-19, vaccination intent, and health literacy among educators in Japan: An online survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 0257552-0257552
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0257552	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukuda Yasue, Fukuda Koji	4. 巻 19
2. 論文標題 Educators' Psychosocial Burdens Due to the COVID-19 Pandemic and Predictive Factors: A Cross-Sectional Survey of the Relationship with Sense of Coherence and Social Capital	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 2134-2134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19042134	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田耕治	4. 巻 7
2. 論文標題 新型コロナ危機とEU統合-感染症制御と経済復興のマルチレベル・ガバナンス	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 グローバル・ガバナンス	6. 最初と最後の頁 46-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大矢根聡	4. 巻 第30号
2. 論文標題 インド太平洋地域の制度競合・共存構造 規範の「叫び声・ため息」循環	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本国際経済法学会年報	6. 最初と最後の頁 第30号
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大矢根聡	4. 巻 The Study of Global Governance
2. 論文標題 The Range of the “End-of-Paradigms Debate” in Global Governance Theory: Theoretical Compositeness and Structural Changes in International Relations,	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Study of Global Governance	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 首藤もと子	4. 巻 第21巻第1号
2. 論文標題 COVAXファシリティと国際公益の課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 公益学研究	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高柳彰夫	4. 巻 24号
2. 論文標題 DAC市民社会勧告の特徴と今後の課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国際交流研究 (フェリス女学院大学国際交流学部紀要)	6. 最初と最後の頁 129-150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazunari Sakai, Olivier Chopin	4. 巻 9
2. 論文標題 Diversification of Security and Possibilities for “Cultural Security”: Focusing on the Cases of the EU and France	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Relations and Diplomacy	6. 最初と最後の頁 321-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17265/2328-2134/2021.08.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 坂井一成	4. 巻 56
2. 論文標題 「影響力ある外交」を模索するフランスの文化外交	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際文化学研究	6. 最初と最後の頁 159-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fregonese Pierre-William、Sakai Kazunari	4. 巻 2
2. 論文標題 French Cultural Strategy and the Japanese Paradigm	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ALTERNATIVE FRANCOPHONE	6. 最初と最後の頁 6-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.29173/af29420	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 平川幸子	4. 巻 51巻1号
2. 論文標題 安倍外交の検証：ASEANと台湾への接近を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 問題と研究	6. 最初と最後の頁 65-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.30391/ISJ	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊啓貴	4. 巻 第48巻第4号
2. 論文標題 フランスのポピュリズムと治安・安全保障	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『国際安全保障』安全保障学会	6. 最初と最後の頁 59-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 首藤もと子	4. 巻 第6号
2. 論文標題 労働移動をめぐるASEANの地域ガバナンスー制度化の進展と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 グローバル・ガバナンス	6. 最初と最後の頁 33-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 首藤もと子	4. 巻 第25巻第9号
2. 論文標題 ASEANの高等教育ネットワークの進展と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 36-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大矢根聡	4. 巻 第179期 5
2. 論文標題 日美経貿摩擦的政治解決過程ー兼論与中美経貿摩擦的比較ー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中国社会科学院日本研究所・中華日本学会『日本学刊』	6. 最初と最後の頁 127-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Satoshi Oyane	4. 巻 Vol.7
2. 論文標題 The Range of the "End-of-Paradigms Debate" in Global Governance Theory: Theoretical Compositeness and Structural Changes in International Relations	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Study of Global Governance	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村登志哉	4. 巻 第48巻第4号
2. 論文標題 ドイツのインド太平洋戦略 米中対立と対中経済連携の狭間で	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際安全保障	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊啓貴	4. 巻 2019.6.11
2. 論文標題 メイ首相、涙の辞任表明	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 エコノミスト	6. 最初と最後の頁 36-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊啓貴	4. 巻 58
2. 論文標題 ベルリンの壁崩壊30年、岐路に立つ欧州	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 54-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大矢根聡	4. 巻 199号
2. 論文標題 日本の国際政治学 仕切られた対話からの共創?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際政治	6. 最初と最後の頁 81-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 首藤もと子	4. 巻 第6号
2. 論文標題 労働移動をめぐるASEANの地域ガバナンス	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『グローバル・ガバナンス』	6. 最初と最後の頁 33-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akio Takayanagi	4. 巻 21号
2. 論文標題 "CSO-Government Partnership: Lessons from the Canadian Experience"	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際交流研究	6. 最初と最後の頁 61-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazunari Sakai, Gilles Ferragu	4. 巻 8
2. 論文標題 France 's Strategy on Migration Issues in the Mediterranean	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Relations and Diplomacy	6. 最初と最後の頁 45-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17265/2328-2134/2020.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 小尾美千代	4. 巻 第6号
2. 論文標題 アメリカにおける再生可能エネルギー市場の構築と気候をめぐるグローバル・ガバナンス	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 グローバル・ガバナンス	6. 最初と最後の頁 13-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sachiko Hirakawa	4. 巻 39
2. 論文標題 Reviewing the Twenty Years of Japan's "Human Security": From Elusive Theory to Sharp Practice	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア太平洋討究	6. 最初と最後の頁 93-104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊啓貴	4. 巻 1
2. 論文標題 ユーラシアから見た国際政治	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 JFIR World Review 2018 6-24	6. 最初と最後の頁 6-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hirotaka Watanabe	4. 巻 no 50
2. 論文標題 The new Japonisme: From international cultural exchange to cultural diplomacy; Evaluating the influence of cultural activities on diplomacy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 web Discuss Japan September 2018	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirotaka Watanabe	4. 巻 no 49
2. 論文標題 The 160th Anniversary of Franco-Japanese Diplomatic Relations: How France Discovered Japonisme	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 web Discuss Japan September 2018	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 福田耕治	4. 巻 18
2. 論文標題 地域包括ケアのための「時間銀行」による予見的ガバナンス	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 公益学研究	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福田耕治	4. 巻 -
2. 論文標題 「Brexit 後の欧州政治情勢とEU改革の行方」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『英国のEU離脱とEUの未来-英国は何故EUからの離脱を選択したのか』21世紀研究所	6. 最初と最後の頁 133-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shuto Motoko	4. 巻 7
2. 論文標題 Patterns and views of China's public diplomacy in ASEAN countries: focusing on Confucius Institutes	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Contemporary East Asia Studies	6. 最初と最後の頁 124-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/24761028.2018.1553227	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高柳彰夫	4. 巻 21
2. 論文標題 カナダのJ.トルドー政権のフェミニスト国際援助政策と市民社会パートナーシップ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際交流研究	6. 最初と最後の頁 137-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計46件（うち招待講演 12件 / うち国際学会 13件）

1. 発表者名 Motoko Shuto
2. 発表標題 Follow-up Analysis of the ACMW Self-Assessment of the AFML recommendations
3. 学会等名 The 15th ASEAN Forum on Migrant Labour (AFML) Meeting (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Motoko Shuto
2. 発表標題 Follow-up Analysis of the ACMW Self-Assessment of the AFML Recommendations by referring to the Recommendations of the 15th AFML in October 2022
3. 学会等名 Special Session of ASEAN Committee on the Implementation of the ASEAN Declaration of the Rights of Migrant Workers (ACMW) (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 奥迫元
2. 発表標題 グローバル・ガバナンスにおける国連の再定位 学際的規範研究の最前線
3. 学会等名 日本国際政治学会 2022年度研究大会 分科会C-4 国連研究分科会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊啓貴
2. 発表標題 グローバル・ガバナンス学会の10年と研究の課題
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊啓貴
2. 発表標題 「米中対立とその展望」
3. 学会等名 日本防衛学会 第1回オンライン研究分科会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 福田耕治
2. 発表標題 国際行政学とグローバル・ガバナンス論、そして学会への期待
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 首藤もと子
2. 発表標題 COVAXの役割とグローバル・ガバナンスの課題
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akio Takayanagi
2. 発表標題 DAC Recommendation on Enabling Civil Society in Development Co-operation and Humanitarian Assistance: Its Implications for Taiwan and Japan
3. 学会等名 Multi-stakeholder Forum on Civil Society-Government Partnership in Development Cooperation: Overview and Prospect (Coorganized by Taiwan Foundation for Democracy and TaiwanAID) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 坂井一成
2. 発表標題 地中海圏域における地域連携の交錯とフランス
3. 学会等名 日本国際政治学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 OBI, Michiyo
2. 発表標題 From Low-carbon to Zero-carbon? - Socialization of the International Norm of Climate Change and the Role of the Private Economic Actors in Japan
3. 学会等名 International Political Science Association, 26th World Congress of Political Science (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊啓貴
2. 発表標題 第一次世界大戦後の世界
3. 学会等名 CHIR-JAPAN(日本国際関係史学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊啓貴
2. 発表標題 トランプ外交と米欧関係
3. 学会等名 国際安全保障学会
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 Motoko Shuto
2. 発表標題 "ASEAN 's Governance of Labor Migration: Emerging Institutionalization of Tripartite plus Civil Society Organizations ' Forum
3. 学会等名 Europe and Asia, 100 years of World Wars and Post-War Regional Collaboration and Good Governance (Online) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 首藤もと子
2. 発表標題 新型コロナウイルスと公益－国際政治の視点から
3. 学会等名 2020年度日本公益学会研究大会シンポジウム(オンライン)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宮脇昇
2. 発表標題 A Different Corner: "Pandeconomy" without Pandemonium in NEA
3. 学会等名 Webinar on China-Japan-ROK Industrial Cooperation amid Global Spread of the COVID-19. (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮脇昇
2. 発表標題 COVID-19対策としての国境閉鎖 移動の自由と健康
3. 学会等名 日本平和学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高柳彰夫
2. 発表標題 Possible Recommendation or Guidance on Partnering with Civil Society by OECD/DAC: An Analysis of “Action Points” in the OECD Report, DAC Members and Civil Society
3. 学会等名 国際開発学会第31回研究大会（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高柳彰夫
2. 発表標題 CSO - Government Aid Agencies Partnerships in Japan: Recent Trends and Future Challenges
3. 学会等名 Workshop, Civil Society Program, Asia Center, Seoul National University（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊啓貴
2. 発表標題 欧州政策パネル「欧州議会選挙後の欧州の行方」
3. 学会等名 グローバル・フォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊啓貴
2. 発表標題 欧州政策パネル「混沌の英EU離脱問題」
3. 学会等名 グローバル・フォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 首藤もと子
2. 発表標題 ASEANの移民労働ガバナンスの展開 - 制度化、拡張と深化く国内化
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会第9回研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Takayanagi
2. 発表標題 "CSO-Government Partnership: Lessons from the Canadian Experience"
3. 学会等名 国際開発学会第30回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高柳彰夫
2. 発表標題 SDGs から考える多様性
3. 学会等名 "日本ナレッジ・マネジメント学会 新産業革命研究部会" (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Noboru Miyawaki
2. 発表標題 Cooperation between Landlocked Area and Islands Area in NEA, at the Sixth Ulaanbaatar Dialogue on NEA Security,
3. 学会等名 Ulaanbaatar Dialogue (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮脇昇
2. 発表標題 国際合意の履行と破約 国際政治学の観点から
3. 学会等名 国際法学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮脇昇
2. 発表標題 地域対話におけるモンゴルの役割 欧州の経験から
3. 学会等名 鹿児島大学島嶼研シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazunari Sakai
2. 発表標題 Significance of the Japan-EU Strategic Partnership Agreement (SPA) from Soft Power and Interregionalism Point of View
3. 学会等名 The 10th Kobe University Brussels European Centre Symposium &laquo;Open Science, Evolving Societies: New Horizons for EU-Japan Research&raquo; (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 奥迫 元
2. 発表標題 「グローバル化時代の国際理論に関する一考察 効果的で公正なグローバル・ポリティクスを求めて
3. 学会等名 日本国際政治学会2019年度研究大会 部会3
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 Japan's Perspective on FOIP(S): Formation toward "International Public Goods"
3. 学会等名 The Korean Association of International Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村登志哉 (討論者)
2. 発表標題 「Paradox of German Power- Implications for Japan」
3. 学会等名 名古屋大学グローバルメディア研究センター第6回国際パブリック・レクチャー
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村登志哉
2. 発表標題 「欧州のドイツか、ドイツの欧州か：ベルリンの壁崩壊30年後の欧州の未来図」
3. 学会等名 第2回欧州政策パネル (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村登志哉
2. 発表標題 「ドイツにおける多国間主義と欧州懐疑主義の相克」
3. 学会等名 日本EU学会第40回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松井康浩
2. 発表標題 「『長い1970年代』の越境的市民社会による人権実践：ソ連異論派と西側支援者のケース」
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会第10回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hirotaka Watanabe
2. 発表標題 International and Human Relations in the International Society --- Cultural Diplomacy as method for promoting the understanding of Japanese culture---
3. 学会等名 Kyoto Transdisciplinary & Transnational Forum 2018 "Circle of Emptiness and Wholeness" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡邊啓貴
2. 発表標題 日中韓サミット後の一帯一路と日本の戦略 第三の一帯一路：氷上シルクロードと日本 -ユーラシア・パワーシフトの中の地政学とグローバル・ガバナンス
3. 学会等名 国際アジア共同体学会 2018春季大会 2018年6月24日(日) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡邊啓貴
2. 発表標題 日仏文化外交比較
3. 学会等名 シンポジウム「グローバル・プレイヤーとしての日仏協力：日仏協力の現実と未来」(国際交流基金「ジャポニスム2018」)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡邊啓貴
2. 発表標題 大西洋・ユーラシア関係の中のヨーロッパ
3. 学会等名 日本防衛学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本武彦
2. 発表標題 共通論題・ユーラシアの変動とグローバル・ガバナンス
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Motoko Shuto
2. 発表標題 "New Institutionalization of ASEAN for Regional Governance on Labor Migration"
3. 学会等名 「労働移民と地域ガバナンス」科学研究会（代表 明石純一 筑波大学准教授）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高柳彰夫
2. 発表標題 市民社会スペースの狭まり：世界の状況
3. 学会等名 国際開発学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂井一成
2. 発表標題 地中海の移民難民問題をめぐるフランスの戦略
3. 学会等名 日本国際政治学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂井一成
2. 発表標題 安全保障文化と移民難民問題～日本とイタリアを取り巻く環境
3. 学会等名 国際シンポジウム「イタリアと日本 地政学における新たな挑戦」イタリア文化会館（主催：イタリア文化会館、イタリア大使館、協力：Limes）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂井一成
2. 発表標題 日仏の外国人・移民問題
3. 学会等名 シンポジウム「グローバル・プレイヤーとしての日仏協力：日仏協力の現実と未来」（国際交流基金「ジャポニスム2018」）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sachiko Hirakawa
2. 発表標題 Emerging Norms Competition in Asian Multilateralism
3. 学会等名 the 6th JSA ASEAN Conference 2018（国際学会）
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 平川幸子
2. 発表標題 中国イニシアチブの発展過程
3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村登志哉
2. 発表標題 基調講演「日本から見たドイツ統一という歴史的経験」
3. 学会等名 東京大学韓国学研究中心・同大学ドイツ・ヨーロッパ研究中心共催シンポジウム『日本から見たドイツ統一と朝鮮半島の将来』 （招待講演）
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計33件

1. 著者名 グローバルガバナンス学会編、中村登志哉・小尾美千代・首藤もと子責任編集	4. 発行年 2024年
2. 出版社 芦書房	5. 総ページ数 264
3. 書名 ウクライナ戦争とグローバル・ガバナンス	

1. 著者名 渡邊啓貴 監修・編著	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 393
3. 書名 ユーラシア・ダイナミズムと日本	

1. 著者名 渡邊啓貴 (共著)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 372
3. 書名 NATOを知るための71章	

1. 著者名 首藤もと子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑波大学出版会	5. 総ページ数 324
3. 書名 明石純一編 『移住労働とディアスポラ政策』	

1. 著者名 渡邊啓貴 (編著)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 JFIR	5. 総ページ数 188
3. 書名 JFIR World Review 特集「欧州政治のリアル」序章「世界の中の欧州をどう見るか」	

1. 著者名 福田耕治	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 352
3. 書名 英国 EU 離脱と新型コロナ危機のなかの EU 統合---欧州リスクガバナンスと連帯の模索	

1. 著者名 大矢根 聡	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 388
3. 書名 戦後日本外交からみる国際関係	

1. 著者名 Sachiko Hirakawa(Huck-ju Kwon, Tatsufumi Yanagata, Eunju Kim and Hisahiro Kondoh eds.)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Singapore: Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 334
3. 書名 International Development Cooperation of Japan and South Korea: New Strategies for an Uncertain World	

1. 著者名 宮脇昇	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本経済評論社	5. 総ページ数 280
3. 書名 戦争と民主主義の国際政治学	

1. 著者名 Kazunari Sakai and Noemi Lanna, eds.	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 201
3. 書名 Migration Governance in Asia: A Multi-level Analysis	

1. 著者名 岡部みどり、森井裕一、坂井一成、八十田博人、細田晴子、市川顕、藤嶋亮、中井遼、小館尚文、今井宏平、湯浅剛、舒 旻、前嶋和弘、植木安弘	4. 発行年 2022年
2. 出版社 日本経済評論社	5. 総ページ数 336
3. 書名 世界変動と脱EU / 超EU	

1. 著者名 鈴木健人、伊藤剛 (平川幸子分担執筆)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 有信堂高文社	5. 総ページ数 280
3. 書名 米中争覇とアジア太平洋	

1. 著者名 Piero Ignazi et Dominique Reynie(ed.) Hirotaka Watanabe	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Sciences Po Les Presses	5. 総ページ数 471
3. 書名 La vie politique	

1. 著者名 ナンジン・ドルジスレン 玉井雅隆 玉井良尚 宮脇昇	4. 発行年 2021年
2. 出版社 志學社	5. 総ページ数 73
3. 書名 コロナに挑む内陸国	

1. 著者名 庄司真理子、玉井雅隆 宮脇昇編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 227
3. 書名 新グローバル公共政策（改訂2版）	

1. 著者名 ステイーヴン・クラズナー（河野勝監訳）宮脇昇	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 460
3. 書名 国際レジーム	

1. 著者名 坂井一成・八十田博人（編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 226
3. 書名 よくわかるEU政治	

1. 著者名 植田隆子（編） 坂井一成	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文真堂	5. 総ページ数 335
3. 書名 新型コロナ危機と欧州 - - E U ・加盟10カ国と英国の対応	

1. 著者名 吉井昌彦（編） 坂井一成	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 256
3. 書名 EUの回復力	

1. 著者名 福田耕治、坂根徹(2020)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 国際行政の新展開—国連・EUとSDGsのグロー ノバノル・ガバナンス	5. 総ページ数 237
3. 書名 法律文化社	

1. 著者名 渡邊啓貴	4. 発行年 2019年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 260
3. 書名 フランスと世界	

1. 著者名 大矢根聡編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 343
3. 書名 国際関係理論と日本外交史 「分断」を乗り越えられるか	

1. 著者名 Motoko Shuto	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Nakanishi Printing Co. Ltd.	5. 総ページ数 229
3. 書名 "ASEAN's Governance of Labor Migration: Progress of Institutionalization and Challenges," in Kumiko Haba ed., 100 Years of World Wars and Post-War Regional Collaboration and Good Governance	

1. 著者名 宮脇昇編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 志學社	5. 総ページ数 310
3. 書名 国際関係の争点化	

1. 著者名 稲垣文昭・玉井良尚・宮脇昇編	4. 発行年 2020年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 285
3. 書名 資源地政学	

1. 著者名 近藤敦・豊田祐輔・吉永潤・宮脇昇編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 293
3. 書名 大学の学びを変えるゲーミング	

1. 著者名 ハンス・クンドナニ、中村 登志哉	4. 発行年 2019年
2. 出版社 一藝社	5. 総ページ数 234
3. 書名 ドイツ・パワーの逆説	

1. 著者名 渡邊啓貴	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 240
3. 書名 アメリカとヨーロッパ	

1. 著者名 Hirotaka Watanabe	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Peter Lang	5. 総ページ数 423
3. 書名 Robert Frank et Catherine Horel(ed) Entrer en guerre 1914-1918 : des Balkans au monde, Watanabe "Japan wages World War to become a World Power "	

1. 著者名 渡邊啓貴共編著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京外国語大学国際関係研究所/Fondation pour l'Innovation Politique	5. 総ページ数 194
3. 書名 フランス新政権と日仏協力Le Nouveau pouvoir et la cooperation franco-japonaise	



1. 著者名 Koji Fukuda, et.al., Hideko Magara ed.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 259
3. 書名 Policy Change under New Democratic Capitalism	

1. 著者名 須網隆夫、21世紀政策研究所	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 236
3. 書名 英国のEU離脱とEUの未来	

1. 著者名 高柳 彰夫、大橋 正明、仲佐 保、北村 友人、興津 妙子、田中 雅子、西川 潤、穂坂 光彦、小坂 真理、西川 芳昭、小林 邦彦、若林 秀樹、高木 晶弘、小川 玲子、稲場 雅紀、青尾 謙、狩野 光伸、堀江 由美子、重宗 之雄、小辻 昌平	4. 発行年 2018年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 294
3. 書名 SDGsを学ぶ	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山本 武彦  (Yamamoto Takehiko)  (10210535)	早稲田大学・政治経済学術院・名誉教授   (32689)	
研究分担者	福田 耕治  (Fukuda Koji)  (20165286)	早稲田大学・政治経済学術院・教授   (32689)	

## 6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大矢根 聡  (Oyane Satoshi)  (40213889)	同志社大学・法学部・教授    (34310)	
研究分担者	山田 哲也  (Yamada Tetsuya)  (00367640)	南山大学・総合政策学部・教授    (33917)	
研究分担者	首藤 もと子  (Shuto Motoko)  (10154337)	筑波大学・人文社会系(名誉教授)・名誉教授    (12102)	
研究分担者	高柳 彰夫  (Takayanagi Akio)  (10254616)	フェリス学院大学・国際交流学部・教授    (32711)	
研究分担者	宮脇 昇  (Miyawaki Noboru)  (50289336)	立命館大学・政策科学部・教授    (34315)	
研究分担者	坂井 一成  (Sakai Kazunari)  (60313350)	神戸大学・国際文化学研究所・教授    (14501)	
研究分担者	小尾 美千代  (Obi Michiyo)  (70316149)	南山大学・総合政策学部・教授    (33917)	
研究分担者	奥迫 元  (Okusako Hajime)  (80386557)	早稲田大学・社会科学総合学術院・准教授    (32689)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	平川 幸子 (Hirakawa Sachiko) (80570176)	早稲田大学・留学センター・准教授（任期付）  (32689)	
研究分担者	土屋 大洋 (Tsuchiya Motohiro) (90319012)	慶應義塾大学・政策・メディア研究科（藤沢）・教授  (32612)	
研究分担者	中村 登志哉 (Nakamura Toshiya) (70382439)	名古屋大学・情報学研究科・教授  (13901)	
研究分担者	松井 康浩 (Matsui Yasuhiro) (70219377)	九州大学・比較社会文化研究院・教授  (17102)	

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 日仏知的交流「第 8 回日仏対話週間：グローバル・プレイヤーとしての日仏協力」	開催年 2023年～2023年
国際研究集会 グローバル・ガバナンスにおける多様な主体とトランスナショナル規範	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 シンポジウム「ブレグジット後のヨーロッパの行方」 > 基調講演：英王立国際問題研究所 上級研究員 ハンス・クンドナニ氏 > "Europe after Brexit- Revisit of German Question?"	開催年 2019年～2019年

## 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------